

Web 公開用研究成果概要

所 属	
氏 名	佐々木 亮道

研究テーマ	秋田県仁賀保地域における活断層の分布と性状の解明
-------	--------------------------

関連分野	変動地形学
------	-------

対象フィールド	鳥海山・飛島ジオパーク
---------	-------------

キーワード	活断層 仁賀保断層帯 変位地形
-------	-----------------------

 <p>八峰白神ジオパーク Hoppo-Shirokami Geopark</p> <p>鳥海山・飛島ジオパーク Mt. Chokai &amp; Tobishima Island Geopark</p> <p>ゆざわジオパーク Yuzawa Geopark</p> <p>鳥海山・飛島ジオパーク Mt. Chokai &amp; Tobishima Island Geopark</p>	<p>本研究成果概要は秋田県ジオパーク連絡協議会 による「平成 28 年度秋田県ジオパーク研究助成 事業」公募研究に採択された研究の成果である。</p>
---	--

**秋田県ジオパーク連絡協議会**

## 研究成果概要 (A4 用紙で 1 枚程度)

本研究では、仁賀保断層帯の存在とその活動性を明らかにすることを目的として、空中写真判読と現地調査などを行い、地形面区分を実施し、現地測量および DEM 情報等から地形断面図を作成したほか、既存のボーリング調査結果から地下地質を検討した。また、区分した地形面の構成層の層相および年代を把握するため、検土杖や打ち込み式コアサンプラーによる掘削調査と、そこから得られた試料の  $^{14}\text{C}$  年代測定を行った。その結果、以下のことが明らかとなった。

### ○仁賀保断層帯の分布

鳥海山北麓から旧仁賀保町の海岸付近の地域において、丘陵と低地の境界付近から白雪川沿いの低地にかけて、3 条の活断層からなる長さ約 11km、走向北北西—南南東の仁賀保断層帯が分布することが明らかとなった。これら 3 条の活断層は、丘陵麓の境界断層に対する前縁断層であると考えられる。

### ○仁賀保断層帯の活動性

仁賀保断層帯を構成する活断層が横断する完新世の地形面・地形面構成層の年代と変位量から、仁賀保断層帯の最新活動時期は約 570 年 B.P.以降、上下方向の単位変位量は約 2~3m、平均変位速度は約 1.5~2.2m/千年、1 回前の活動時期は約 2,200~2,300 年 B.P.の間であると求められた。

### ○仁賀保断層帯の海域延長

上下方向の単位変位量が約 2~3m であるとする、断層帯の長さは約 30~40km になると考えられ、陸域で認められた長さ約 11km の仁賀保断層帯は、旧仁賀保町北方の海域に 20km 以上延長していると推定される。このことは、仁賀保断層帯の活動が地震津波を発生させる可能性があることを示しており、防災の面からも注目すべき断層帯である。